

## 令和4年12月定例会 陳情

### 令和4年陳情第7号

ゆたかな学びの実現・教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2023年度政府予算に係る意見書の提出を求める陳情

#### ・受理年月日

令和4年8月26日

#### ・陳情の要旨

(陳情の趣旨)

1. 中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討すること。
2. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、教職員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
3. 自治体で国の標準を下回る「学級編成基準の弾力的運用」の実施ができるよう加配の削減は行わないこと。
4. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げること。

(陳情の理由)

21年の法改正により、小学校の学級編成標準は段階的に35人に引き下げられるものの、中・高での早期実現も必要である。加えて、きめ細かい教育活動やコロナ禍における教室内のソーシャルディスタンスを保つためには、学級編成標準の引き下げ、少人数学級の実現が必要である。

県内では、学級編成基準に基づいた定数内配置や育休者・病休者などの代替措置などが未充足など、慢性的な教員不足により教材研究や授業準備に支障をきたしている。また、いじめ、不登校など問題が多様化・細分化し、より細やかな指導が必要とされ、学校ではそれに対応するための別室は設置しているもののその分の人員は配置されていない。

厳しい財政状況の中、独自財源により人的措置等を行っている自治体もあるが、自治体間の教育格差が生じることは問題である。国の施策として定数改善に向けた財源保証をし、子どもたちが全国どこに住んでも一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。

上記について国の関係機関への意見書提出を陳情する。

#### ・陳情者

大船渡市盛町字東町14-2  
岩手県教職員組合南リアス支部  
支部長 小國 博文

#### ・処理結果

本会議において報告しました。

上記項目を記載した陳情文書表を、全議員及び本会議に出席した当局職員へ配付しました。

## 令和4年12月定例会 陳情

### 令和4年陳情第8号

### 令和5年度 理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い

#### ・受理年月日

令和4年8月29日

#### ・陳情の要旨

小・中・高等学校では新学習指導要領が実施されている。理科教育においては、益々〔観察・実験〕が重視され、今回初めて学習指導要領の中で小中共に「環境整備に十分配慮すること」という一文が加えられ、〔観察・実験〕重視の視点から、これが十分実施できる理科教育環境整備に対する対応が重要であることが論じられている。

しかし、当協会の調査では小中高の理科教育環境はまだまだ十分とは言えず、調査では10年連続で小中高共に「観察・実験機器の不足」が挙げられている。

理科教育設備整備費等補助金事業は、小中高の観察・実験機器の整備拡充のための国庫補助事業だが、補助をうける自治体・学校法人が総事業費の半分を負担する事業のため、積極的に本事業を取り込み、観察実験機器の充実に着手している自治体とそうでない自治体との地域格差が生じている。

については、理科教育環境向上のため下記事項を要望する。

#### 記

- ・令和5年度 理科教育設備整備予算の計上  
(理科教育設備整備費等補助金事業への積極的取り組み)
- ・観察実験に伴う消耗品について、十分な予算措置
- ・理科観察実験が十分に行える場所(理科室)の確保
- ・実験支援員の配置

#### ・陳情者

東京都千代田区神田小川町3-28 昇龍館ビル  
公益社団法人日本理科教育振興協会  
会長 大久保 昇

#### ・処理結果

本会議において報告しました。

上記項目を記載した陳情文書表を、全議員及び本会議に出席した当局職員へ配付しました。